

事務事業名	公営住宅等ストック改善事業(澄水団地)	所属部	建設部	所属課	都市建築課
政策名	総合計画(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	建築・営繕G	課長名	嘉本 俊一
施策名	(04)計画的な土地利用と市街地整備	担当者名	吉川 卓男	電話番号(内線)	0854-40-1064
基本事業名	(011)住環境開発地域の整備	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 410 215 115 011		3750 公営住宅整備事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(20年度~26年度)	雲南市公営住宅ストック総合活用計画に基づき、公営住宅である澄水団地の居住水準を向上させる。 ・改善戸数棟数ー 4棟48戸(1棟あたり12戸) ・事業期間はH20~H26年度 ・改善内容①戸別改善(浴槽改修・3点給湯・洗面台取替え等)②共用階段手摺設置③外壁落下防止改修(1号棟のみ)④屋上防水改修(1号棟のみ)	雲南市公営住宅ストック総合活用計画にて、澄水住宅の設備・屋根防水・外壁等の改修工事を行なうこととした。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
各住戸の内部改善工事 12,157(千円) 事務費 60(千円)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円	4,108 0 5,000 0 73 9,181	4,134 0 0 0 5,509 9,643	4,634 0 0 0 7,583 12,217	9,289 0 14,900 0 2,111 26,300	13,635 0 16,600 0 1,165 31,400	45,925 0 48,800 0 17,616 112,341
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B)	人 時間 千円	2 200 763	2 300 1,166	2 300 1,183	2 0 0	2 0 0	
工事発注→施工監督→完了事務	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,944	10,809	13,400	26,300	31,400	112,341

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	戸別改善(9戸)	ア 戸別改善	戸	6	7	9	0	20	48
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 共用階段手摺設置工事	棟	0	0	0	4	0	4
	1号棟屋上・外壁改修 1~4号棟共用階段手摺設置	ウ 1号棟外壁・屋上改修	棟	0	0	0	1	0	1
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	澄水団地	⑥ 対象指標							
		ア 未改修戸数	戸	42	35	26	26	6	0
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	・居住水準向上 ・住宅の長寿命化	ア 進捗率(改善済住戸/住宅戸数)	%	12.5	27.1	45.8	45.8	87.5	100.0
		イ							
		ウ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	地域特性を活かした有効かつ効果的な土地利用を進める。	ア 便利で住みよいまちだと感じている割合	%	59.3	58.8				
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
21年度より改善工事が始まり、浴室・洗面室の改善、給湯設備の設置、トイレ手摺設置、コンセントの増設等、居住環境の改善が計られた。	特になし。	H20年度に行った戸別調査時に現在入居者より、改善を望む声があった。また階段室の手摺を早くつけてほしい旨と、1号棟の老朽化を心配する声があった。

事務事業名	公営住宅等ストック改善事業(澄水団地)	所属部	建設部	所属課	都市建築課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↘ 居住環境を整備する事業であり、施策体系と直結している。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ 市営住宅であり、維持管理は市において行うものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↘ 公営住宅長寿命化計画(H23年度策定)に基づいているため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↘ 公営住宅長寿命化計画の定めにより、年次的に事業実施していくことで向上する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↘ 公営住宅長寿命化計画で定めた計画を実現できなくなる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↘ 団地ごとに、整備内容が違うため、統合の余地はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 現在の計画で最低限の住宅水準において施工しているが、単年度でまとめて施工できれば全体事業費としては削減できる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 必要最低限の人員で業務を行っている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↘ 当該団地の入居者の要望により計画したのではなく、市全体の公営住宅の状況を鑑みて計画を定められたものである。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	入居したままの改善工事を計画していることから、今後も工事内容や方法及び工事順序等について入居者の理解を求める必要がある。年度毎に予算の範囲の戸数しか改修を行っていないため非効率である。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし。																									